

平成29年度  
埼玉県多面的機能支援推進会議  
優良事列表彰 活動組織の概要

1	篠津川辺保全隊（桶川市）	1
2	難波田城公園地域環境保全協議会（富士見市）	3
3	川島町下八ツ林集落活動組織（川島町）	5
4	下三沢環境を守る会（皆野町）	7
5	猪俣地区環境保全協議会（美里町）	9
6	中恩田活動組織（熊谷市）	11
7	下長野農地環境協議会（行田市）	13
8	北青柳農地環境整備組合（久喜市）	15

## 地元の力で良好な農村環境の維持

(組織名) 篠津川辺保全隊 (市町村) 桶川市

### 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
11.15ha	11.32ha	2.7km	— km	— km	— 箇所	5.9km

### 2 活動組織の構成員

- 農業者 13人
- 非農業者 17人
- 主な構成団体 篠津自治会、加納小学校、さいたま農業協同組合加納支店

### 3 地域の様子と取組内容

桶川市の北部に位置する篠津・川辺地区は、地域に存する農業用水などの資源や農村環境の良好な地区である。

農業従事者の高齢化により、水路や農道の管理などの活動が手薄になってきたため、平成19年度に農地・水・環境保全向上対策事業を導入した。

地域の農業用施設の保全と維持管理を図るため、水路の泥さらいや農道の路肩・のり面の草刈り、施設の点検を実施している。

地元加納小学校5年生を対象に、河川から流入する開水路に生息する魚類等の生物調査を保全隊主導で実施している。

### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農用地・水路・農道の点検	活動計画の策定 学校教育と連携した農村 環境保全活動	水路の泥さらいや農道の 路肩・のり面の草刈り 農業用施設維持補修 地元小学生を対象とした 水路の生物調査



農道の草刈り



水路の泥さらい



水路の生物調査

## 5 取組の効果及び今後の展望等

老朽化による傷みの目立つ用水路等が多く、点検を行いながら維持修繕を実施し、適切な保全管理を行っている。

これらの共同活動を通じて、この地域の結束力が強められ、地域コミュニティの活性化に繋がっている。

今後も引き続き、水路の泥さらいや農道の路肩、のり面などの草刈りといった維持管理を実施するとともに、地域全体の景観や環境保全等を考慮した植栽等の活動を計画している。

# イベントを通じ市民と農業の交流を図る

(組織名) 難波田城公園地域環境保全協議会 (市町村) 富士見市

## 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
21.5ha	ha	4.4km	3.5km	km	箇所	5.7km



菜の花まつり



会場での玉入れ

## 2 活動組織の構成員

富士見第一土地改良区、JA下南畑支部、山形農家組合、八幡農家組合、馬場農家組合、南畑第3町会、老人会、育成会、富士見有機生産者集団、ワイズファーム、  
構成人数 320人(うち農家 91人)

## 3 地域の様子と取組内容

本地区は、難波田城公園を中央にした地区であり、周辺には県営ほ場整備事業により整備された農地があるが、交通量の増加により、ごみのポイ捨てや不法投棄が多く発生している。

そこで、地区内の大排水路を中心に大型ごみの撤去、「農地・水を大切に」の看板の設置、広報「難波田環境だより」の全戸配布や、市民と農業の交流、青空市場、菜の花祭りなどを実施している。その他にも、年中行事として各関係団体の協力を得て、農業施設の点検、維持管理をはじめ、集落内の草刈、ごみ拾い、地域住民によるミニ運動会などを実施し、地域の交流を図っている。

#### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設の点検、機能診断</li> <li>・遊休農地の発生状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度活動計画の策定</li> <li>・菜の花の摘み取り、地域住民との交流活動</li> <li>・広報の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菜の花の播種、草刈り</li> <li>・清掃活動</li> </ul>



生き物調査



大排水草刈



水路改修



農道法面の草刈り

#### 5 取組の効果及び今後の展望等

菜の花を広範囲に植栽することで景観の向上が図られた。また、水田及び関係する用排水路において生き物調査を実施することで、生態系の保全を目的とした小さな生物と共存できる環境づくりや、子供たちなど多くの人たちが参加できる交流事業を実施することができた。

今後も地域内の農地をはじめとする農村環境の保全を進めながら、農業者と市民、高齢者、子供たちなど多くの人たちが参加できる交流事業を実施する。

## 地域住民と共同した景観形成活動

(組織名) 川島町下八ツ林集落活動組織 (市町村) 川島町

### 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
19.42ha	- ha	- km	2.8km	2km	- 箇所	4.3km

### 2 活動組織の構成員

下八ツ林自治会、川島町土地改良区、さくら会愛好会

### 3 地域の様子と取組内容

本地域は、川島町の中央部に位置する農業の盛んな水田地帯で、農地がまとまっており景観がとても良いところです。周辺には川島町役場や保育園、平成の森公園などがあり、町内外の方がよく訪れる地域です。

当活動組織は、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策の共同活動に取り組み、引き続き、平成26年度からは多面的機能支援事業の農地維持活動及び資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）を実施しています。

資源向上活動では、春は菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスと、季節の花を植栽する活動を行っています。毎年、季節ごとに様々な花が咲くと、近所の方々が散歩に訪れたり、近所の保育園の園児たちが花畑で遊んだりするなど、広く地域の憩いの場となっています。また、花の摘み取りは自由に行えるようになっているため、その看板を設置したり、大輪のひまわりを小学校へ送ったりするなど、地域へ活動を広く周知することにも努めています。

### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定 看板設置による広報活動	水路や農道等の草刈り、 水路の泥上げ・藻刈り、 景観形成植物の植栽、 地域ぐるみでの美化運動



コスモス畑と新設した看板



住民参加による種まき



排水路の草刈り



ひまわり畑

## 5 取組の効果及び今後の展望等

平成 28 年度の資源向上活動では、ハイブリッドサンフラワーという背丈の高いひまわりを植栽し、ひまわり迷路を制作しました。町内住民の方はもちろん、町外からも多数の方が訪れていました。

年 3 回の花の種まきには、近隣の社会福祉施設入所者を含めた地域住民・農業者が参加し、活動を通して交流を深めることができています。

今後もこの活動を継続し、季節ごとに様々な花が楽しめる景観を維持することで、地域住民や訪れる人の憩いの場としていきたいです。

# 「地域一体となったポピー街道の整備」

## 花の植栽による農村環境保全活動

(組織名) 下三沢環境を守る会 (市町村) 皆野町



### 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
7.4ha	0.3ha	1.0km	km	km	箇所	3.5km

### 2 活動組織の構成員

下三沢地区自治会、下三沢地区子供会

構成人数 94人 (うち農業者 14人)

### 3 地域の様子と取組内容

本地区は、中山間地域に位置しており、住民の高齢化や人口の減少に伴い、農地・農業用施設の維持管理の低下が進行しつつある。

このような状況から、農村環境に対する意識を向上させ、農家を中心とした地域住民が一体となった農地や農業用施設を含む地域資源の保全活動を実施し、住みよい地域づくりを目指している。

#### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検や遊休農地等の発生状況調査を実施	点検・状況調査結果に基づき、活動計画を策定	施設の清掃、景観形成のための植栽を中心に実施



水路の泥上げ



遊休農地を利用したポピーの種まき



ポピーの開花状況



ポピーの種とり

#### 5 取組の効果及び今後の展望等

隣接する秩父高原牧場にて毎年5月に行われる「ポピー祭り」に合わせ、より多くの観光客にポピーを楽しんでもらいたいという意向から、景観形成活動の一環として、街道沿いの遊休農地へポピーの植栽活動を行っている。

ポピー開花時期には多くの観光客が足を止め、秩父高原牧場「ポピー祭り」と一体となった観光スポットになりつつあり、農村環境保全活動で実施している花の植栽は高齢者の生きがい活動にもなっている。

## 地域一体となった農村環境を守る取組み

(組織名) 猪俣地区環境保全協議会 (市町村) 美里町

### 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
9.6ha	33.0ha	3.6km	— km	5.1km	4箇所	8.5km



水路点検



水路及び道路の草刈り

### 2 活動組織の構成員

○構成団体：猪俣区、水利組合、猪俣育成会、猪俣フラワークラブ 等

○構成員：68人（うち農業者53人）

### 3 地域の様子と取組内容

#### (1) 地域の様子

当該地域は美里町の南東部に位置し、基盤整備事業により整備されたほ場では、はくさいやねぎなど露地野菜の生産が行われている。

#### (2) 取組内容

遊休農地等の発生状況の把握、畦畔等の施設の機能診断、遊休農地発生防止のための保全管理等を下記のとおり実施している。

4月 遊休農地等の発生状況の把握、畦畔等の施設の機能診断

5月 実践活動に関する年度活動計画の策定

5月 ゴミ拾いなどの美化運動

5月～9月 遊休農地発生防止のための保全管理等、畦畔・農用地法面等の草刈り等

10月 国道脇花壇への植栽

#### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈り、水路の泥上げ、ゴミ拾い、 花の植栽活動等



水路清掃



ゴミ拾い



植栽準備



国道脇花壇の植栽

#### 5 取組の効果及び今後の展望等

道路や用水路等の点検、草刈りや泥上げ等の活動など保全管理はもちろん、美化運動や景観形成を農業者と地元住民が協働し地域コミュニティの醸成を図った。今後、猪俣の百八燈行事や花火大会など地域の魅力を発信することで、これまで活動に参加されていない人の関心を高め、参加を促すことで、保全管理活動の継続や強化が図れる。

## 地域の繋がりを創るために

(組織名) 中恩田活動組織 (市町村) 熊谷市

### 1 地域の資源

田	畑地	開水路	パイプライン	ため池	農道
11.14ha	0.5ha	8.2km	0.4km	0箇所	5.4km



(草刈り)



(水路の泥上げと清掃活動)

### 2 活動組織の構成員

中恩田自治会

### 3 地域の様子と取組内容

#### ○地域の様子

当地区は熊谷市の南部に位置しており、昭和40年代に施行された構造改善事業にて整備された水田地帯（一部畑を含む）である。農業者の高齢化や農業用施設の老朽化により適切な維持管理が困難になってきていることもあり、本事業の取組を開始した。

#### ○取組内容

農業用施設（農用地、水路、道路）の草刈り、泥上げ等の基礎活動を重点的に行っているほか、点検・機能診断に基づき、施設の補修等、保全管理を実施している。

農村環境保全活動では、地域清掃活動を実施するほか、レンゲの植栽を地域の児童養護施設の子供達と一緒にやり、農村の良好な景観を形成している。また、ジャガイモと大根の播種から収穫までの農業体験を地域の子供達を対象に実施している。

#### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈り、泥上げ 農用地等を活用した景観 形成活動、施設等の定期的 な巡回点検・清掃



(レンゲの花を摘み取る子供達)



(ジャガイモの収穫体験)



(大根の植え)



(大根の収穫体験)

#### 5 取組の効果及び今後の展望等

本事業に取り組む以前は、各農家が個別に堀浚いや草刈りを実施していたが、本事業に取り組むことで地域が一体となり地域全体の農村環境を保全することができるようになった。

レンゲ摘みや収穫体験を通して地域にある社会福祉法人の子供達や職員との交流が盛んになり、地域行事等にも積極的に参加いただけるようになった。地域住民も施設の行事に参加する等、地域全体の交流が深まっている。

今後も活動を継続し、農業用施設の保全はもちろんのこと、地域の発展に貢献したい。

## 地域一体で農村環境を未来に繋げよう

(組織名) 下長野農地環境協議会 (市町村) 行田市

### 1 地域の資源

田	畑地	用排水路	パイプライン	ため池	農道
27.8ha (うち白地が10ha)	ha	6.7km	km	箇所	5.1km



### 2 活動組織の構成員

大下・白山・満願の各地区農家組合  
 大下・白山・満願の各自治会  
 大下・白山・満願の各子供会  
 構成人数 375人(うち農業者 75人)

### 3 地域の様子と取組内容

当地区は行田市の中心よりやや南に位置する水田農業地帯であります。もともと地域で旧忍川の清掃や草刈りを行っていたため、活動に対する理解と協力が得られております。

交付金を利用し、地域の共同活動の維持管理や環境保全活動を更に活発にするために活動を行っております。

### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設点検活動 機能診断	年度計画の策定	施設等の定期的な草刈り、泥上げ 施設等の軽微な補修 生態系保全のための生き物調査



(地域一体となって活動している泥上げ)



(生き物調査)

## 5 取組の効果及び今後の展望等

自治会や子供会と地域一体で活動することによって、非農業者と農業者が身近に接する機会が増え、非農業者にも農業の大切さを知ってもらうことができます。その結果に泥上げや草刈り等の農地維持活動に多くの非農業者の参加が見受けられます。

また、子供達が環境保全活動をするにより、次世代を担う子供達の農業に対する関心を高めることができていると感じております。

今後も、地域一体で農村環境を考え、未来に綺麗な農村環境を繋いでいきたいと考えております。

## 「地域」で支える農村環境

(組織名) 北青柳農地環境整備組合 (市町村) 久喜市

### 1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
9.9ha	1.75ha	2.9km	km	km	箇所	3.7km

### 2 活動組織の構成員

北青柳農事組合 久喜第56区行政区、他  
構成人数45人(うち農業者31人)

### 3 地域の様子と取組内容

本地域は、久喜市の西部に位置する田園地帯で、水稻と転作作物として、大豆と麦の栽培が盛んな地域である。

用排水路等の除草や浚い作業などは農業者が中心となって実施してきたが、他地域同様、農業者の高齢化、後継者不足により実施することが困難な状況になっている。

平成19年度から地域ぐるみで農村活動に対する意識の高揚と地域の財産である農村環境保全の向上を図るべく、地域内の環境整備活動、用排水路の維持管理活動、及び水路更新等の活動を行っている。

### 4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設及び農用地の点検、 機能診断	・地域住民と連携しての美 化、啓発活動	・施設の管理 ・草刈、泥上げ ・水路の更新



地域の草刈り



地域の水路浚い



地域のゴミ拾い



環境保全パトロール



長寿命化活動



長寿命化活動

## 5 取組の効果及び今後の展望等

本事業をきっかけとしてゴミ拾い等、地域ぐるみで美化活動を実施したことにより、農業従事者と非農業者との交流が深まり、非農業者が水路の役割や農業への関心が高まった。

また、計画的に未整備（素掘り）の水路をコンクリート水路へ更新した結果、維持管理の労力が軽減されたため農業者の耕作意欲が高まった。

今後も活動を通して非農業者の方々に農村環境の大切さを伝えていきたい。